

日 Bangladesh 共同声明 (骨子)

2014年9月6日

1. 政治関係の強化

- ハシナ首相は、責任ある立場にある女性の割合を2020年までに30%に高めるという安倍総理のビジョンを評価。ハシナ首相は、チョードリー国会議長が「WAW! 東京」に出席することを伝達。
- 両首相は、早い時期に開催する予定の外務次官級協議を通じた対話を強化することを希望。

2. 経済協力の強化

- 両首相は、8月に実施された第1回官民経済対話のフォローアッププロセスに満足の意を表明。安倍総理は、特別経済特区の環境整備、投資環境の改善の重要性を強調。ハシナ首相はこれらの問題を可及的速やかに対処するよう指示。
- 安倍総理は、ニット製品に関する一般特惠関税の見直しを開始したことを伝達。
- ハシナ首相は、2014年から今後4~5年間で最大6000億円の支援を行うという安倍総理のコミットメントに深く感謝。8月に行われた政策協議において、「ベンガル湾成長地帯構想(BIG-B)」の下で、①輸送ネットワーク、②安定したエネルギー供給、③都市開発(特別経済特区(SEZ)含む)、④民間セクターの成長、の4分野において協力するとの意思を共有。
- 日本造幣局が戦後初めて Bangladesh の貨幣を5億枚製造したことを歓迎。
- 2014年以内に、原子力エネルギーの平和的・安全な利用にかかる日 Bangladesh 専門家対話の第1回会合を開催することで一致。
- 両首相は、防災分野での協力を進めることで一致。両首相は、2015年3月に仙台で開催される国連世界防災会議へのハイレベルの出席を確認。
- 温室効果ガスの排出削減のため高効率石炭火力発電を利用することの重要性を共有。
- 両首相は、日本式医療を導入した病院建設の進展を歓迎。
- 両首相は、両国の協力によるIT技術者試験の2014年9月の導入を歓迎した。

3. 安全保障協力

- 安倍総理は、日本の積極的平和主義及び切れ目のない安全保障法制に関する閣議決定を説明。ハシナ首相は平和・安定への日本のますますの努力を歓迎。
- 両首相は、航行・上空飛行の自由、国際法に則った紛争の平和的解決等の重要性を強調。
- ハシナ首相は、Bangladesh の平和構築センターへの日本の協力に感謝。両首相は、日・Bangladesh ・国連間の三者訓練の11月の実施に向けた進展に満足の意を表明。
- 両首相は、北朝鮮のウラン濃縮活動を含む核・ミサイル開発に係る懸念を共有した。両首相は、北朝鮮に対し、拉致問題を含む人道上の懸念に遅滞なく対応するよう求めた。

4. 文化交流・人と人の交流

- 両首相はダッカ大学日本研究センターの研究活動を強化する意思を表明した。
- 両首相は、シンクタンクや研究機関間の協力を通じた知見の共有の必要性を強調した。

5. 地域的及び国際的フォーラムにおける相互の関心事項に関する協力

- ハシナ首相は、日本の2016年~2017年任期の国連安保理非常任議席への立候補を支持し、自国の立候補を取り下げる旨表明。安倍総理は、深甚なる感謝の意を表した。

6. 結語

- 両首相はハイレベルの往来が定期的に行われるべきことを強調した。

(了)